

日立市民文化遺産を写真で巡る旅 I (後編)

番号	日立市民文化遺産	頁
北部21	ウミウ渡来地と鶺鴒狩り場、鶺鴒狩りの技術	2
北部22	十王川の徒歩鶺鴒漁	4
北部23	友部海防陣屋跡	6
北部24	新堀用水	7
北部25	山尾城跡と友部城跡	8
北部26	十王パノラマ公園と川尻川発電所	10
北部27	金色姫伝説の伝わる蚕養神社	13
北部28	大津淳一郎顕彰碑	15
北部29	小木津浜風流物	17
北部30	小木津山自然公園とハッチョウトンボ	19
北部31	日立紅寒桜	23
北部32	澳津神社のシイと三十六歌仙絵馬	25

番号	日立市民文化遺産	頁
北部33	度志観音・佛ヶ浜	27
北部34	空窪廃寺の不動明王	28
北部35	日立武道館(旧共楽館)	29
北部36	太田尻海岸の西行法師歌碑	30
北部37	東滑川海浜緑地とヒカリモ	32
北部38	かみね公園と公園内の石碑群、動物園	33
北部39	宮田ささら	37
北部40	日立風流物	38
北部41	大雄院の木造釈迦如来三尊像	40
北部42	熊野神社の日立製作所創業石	41
北部43	山野邊家墓所	42

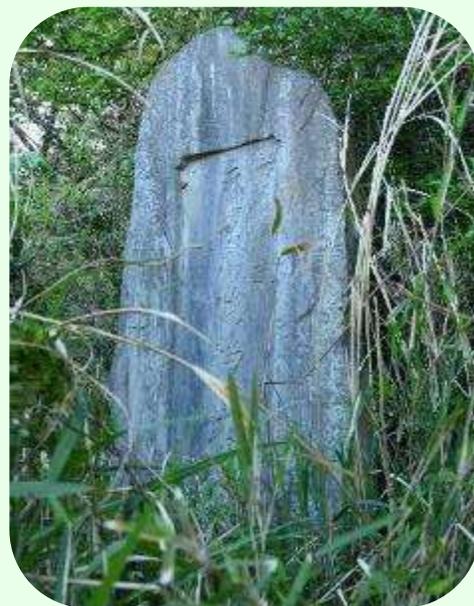
北部地区21 (十王町伊師)

ウミウ渡来地と鶺鴒獲り場、鶺鴒獲りの技術

伊師浜の鶺鴒狩り場は、**洪積層(こうせきそう)**を削った**海食崖**を利用して作られていて、ウミウが羽を休める格好の場所となっています。

ウミウ渡来地

県指定天然記念物



この地域は、日本の「**白砂青松** (はくしゃせいしょう) 100選」に選ばれています。



[目次へ](#)



鳥屋(とや)

ウミウの捕獲は年2期
間行われる



おとり鵜



作業場



鳥屋の内部

鵜獲り場

40羽ほど
を鵜飼地
に供給



カギ棒



捕獲かご

目次へ

北部地区22 (十王町友部) 十王川の徒歩鵜漁

徒歩(かち)鵜漁は、「船鵜漁」と違い、川に鵜飼いが入って鵜を操るもので、現在は、毎年8月に開催される「十王まつり」で再現されています。



十王川



十王まつりの日に再現





十王まつり



ひたち秋祭り

十王鶺鴒(うねどり)舞



目次へ

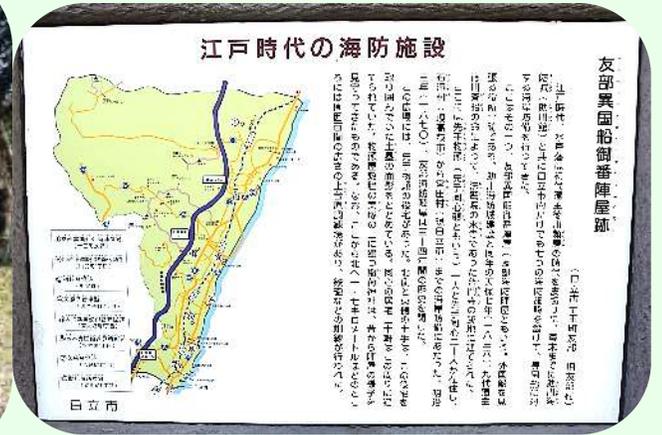


北部地区23 (十王町友部) 友部海防陣屋跡

友部海防陣屋は、現在の楡形小学校西側の**普門寺跡**に設置され、今は広場になっています。



稲荷神社



稲荷神社



御番山

御番山に**大砲5間**が備えられた



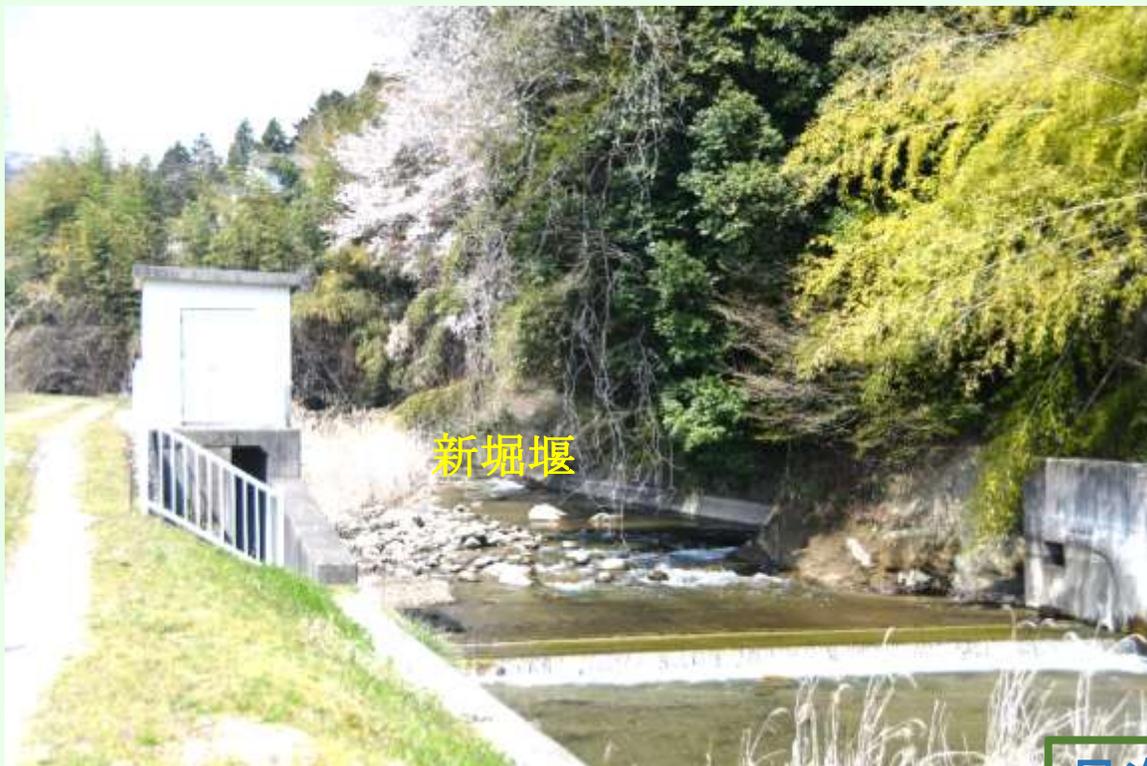
海防農兵

郷土博物館所蔵

[目次へ](#)

北部地区24（十王町友部、伊師本郷、伊師） 新堀用水

新(しん)堀用水は江戸時代から工事が行われ、十王川の大成橋上流の**新堀堰**から水を取り込み、伊師方面に流しています。



用水の長さは新堀用水
から伊師まで4.9km



[目次へ](#)

北部地区25 (十王町友部) 山尾城跡と友部城跡

山尾城と友部城は、南北朝時代に佐竹氏家臣であった小野崎氏によって築かれ、現在は、山尾城跡には「十王中学校」が建っています。



十王中学校所有の山尾城の模型

山尾城跡



十王中学校



十王中学校



地図

十王中学校の周辺には、**廓(くるわ)**や**堀切**が僅かに残っています。



十王中学校



法鷲院五重塔

友部城跡

友部城は、**山尾城の支城**としての性格を有し、**館**が建てられていたと思われます。



城の丘公園



友部城跡には「**城の丘公園**」が造られています。



城の丘公園入口



[目次へ](#)

北部地区26 (十王町)

十王パノラマ公園と川尻川発電所

十王パノラマ公園は、十王ダムの台地に開園し、**UFO型の展望台**から阿武隈山系の山々や、太平洋など360度のパノラマが楽しめます。



十王パノラマ公園



UFO型
展望台



[目次へ](#)



十王ダム湖

石割桜



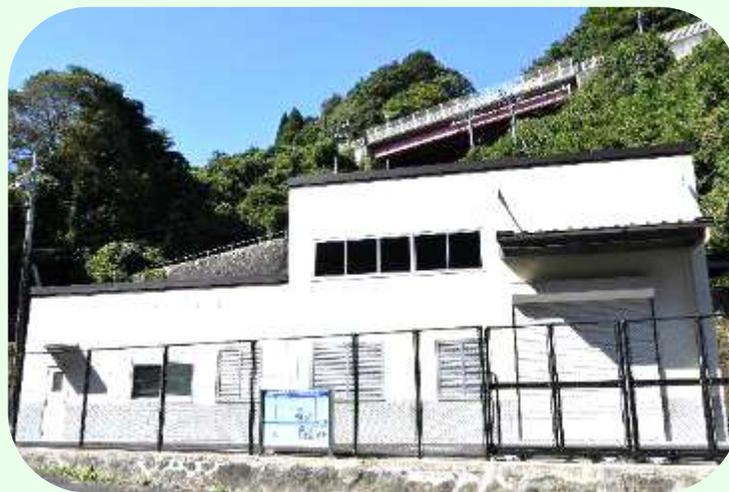
石割桜



目次へ

川尻川発電所

川尻川発電所は、水路式発電所で茨城電気(株)が発電を始めました。現在は東京発電(株)の所管になっており最大出力は800Kwです。



水圧鉄管



十王ダム



以前の発電所



北部地区27 (川尻町2丁目)

金色姫伝説の伝わる蚕養神社

蚕養(こがい)神社は、川尻海岸の高台にあり、養蚕(かいこ)の起源にまつわる**金色姫(こんじきひめ)伝説**が伝わっており、養蚕業の人たちの守り神であったと考えられます。



昔、印度の国の金色姫が豊浦の湊に流れ着き、神官の権太夫夫婦が助けて育てたが、やがて繭になって亡くなった。その際、蚕業を教えて念仏とともに昇天したと伝わった。伝説は他に**筑波の蚕影(こかげ)神社**と**神栖の蚕霊(さんれい)神社**に伝わっている。



[目次へ](#)

茨城百景の碑



小貝ヶ浜



案内板



遊歩道は小貝ヶ浜から
蚕養神社まで約1km



浪切不動尊



二ツ島(二見岩)



灯台

不動岬



遊歩道

目次へ

北部地区28 (川尻町1丁目)
大津淳一郎顕彰碑



豊浦小学校の銅像



大津淳一郎は、明治から昭和初期に活躍した折笠出身の自由民権運動家、政治家で、明治の衆議院議員時代には「大日本憲政史」などを刊行し、国家に貢献したことにより貴族院議員になりました。



郷土博物館
所蔵



鈴山記念館

(れいざん)

鈴山記念館は大津淳一郎の貴族院議員を記念して地元後援会の鈴山会が建設しました。現在は養高園が残っています。



郷土博物館から転写



獅子像



養高園
(ようこうえん)



顕彰碑

目次へ

北部地区29 (小木津町)

小木津浜風流物

小木津浜風流物は、昭和60年に復活され、毎年、8月に「ゆりの木通り」で開催される「おんもさ祭」で山車が公開されています。



昔の河子
風流物





ゆりの木通り



こども御神輿



おんもさ祭り

「おんもさ」とは、この地方の方言で「思う存分」とか「精一杯」の意味



かみね天風連



北部地区30 (小木津町)

小木津山自然公園とハッチョウトンボ

中央池

小木津山自然公園は、昭和46年に市民の憩いの場として開設され、中央部にはスイレンの池があり、自然林、草花、野鳥など見ることができます。



小木津山自然公園



遊歩道



いしくぼの滝

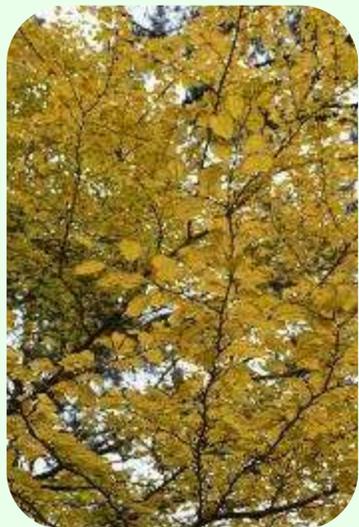
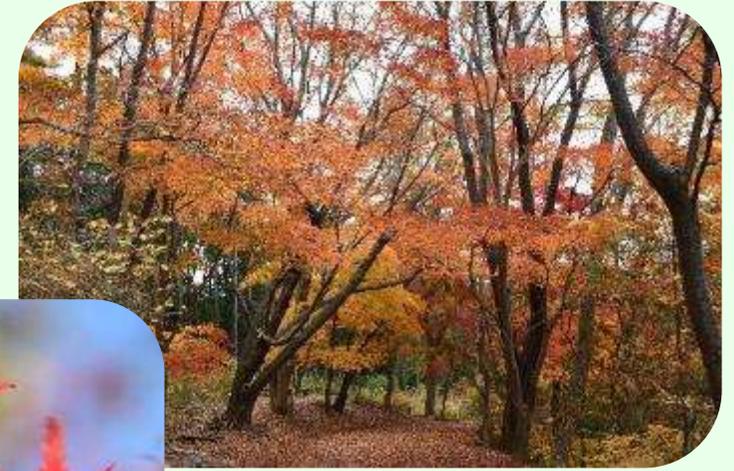


紅葉

[目次へ](#)



小木津山
自然公園
の紅葉



小木津山自然公園
の新緑



[目次へ](#)



オス



メス



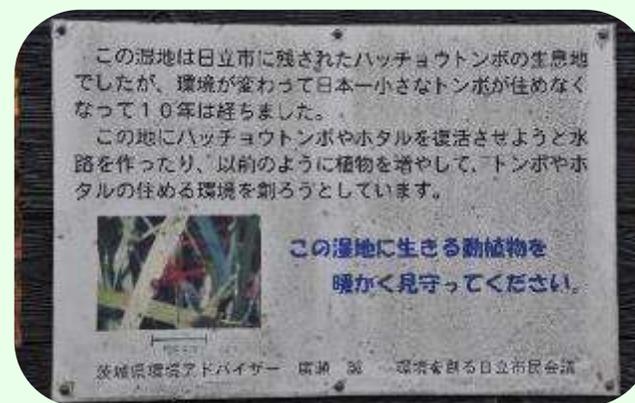
ハッチョウトンボ

日本で最小の種類で2cm

約5億年前の火山岩の地層



昔の生息地



最近では、確認されてません。

[目次へ](#)



北部地区31(日高町2丁目) 日立紅寒桜(日高交流センター)

日立紅寒桜は、平成18年に農林水産省に品種登録され、日立市固有の桜品種として認定されました。

現在は日高交流センター敷地内にクローン第1号が植栽されています。



山桜×寒緋桜と推定

花は1月中旬から2月初旬の早咲きです。



以前、小木津駅前にあった頃





日立市・十王町合併記念



神峰公園の日立紅寒桜

日立紅寒桜は現在市内、市外、県外で約90カ所近く植樹されています。



日立紅寒桜

日立紅寒桜は花の色が淡い紅色で、花の咲き始める時期が一月中旬から二月初旬ごろと極早咲きで、三月上旬に満開を迎える大変珍しい桜です。

名称は、広く市民から募集し、「日立紅寒桜」と命名しました。

平成十八年八月には、日立市固有の桜品種「日立紅寒」として種苗法に基づく品種登録がされました。



目次へ

北部地区32(日高町2丁目)

澳津説(おきつせ)神社の三十六歌仙絵馬とシイ



三十六歌仙は平安時代半ばに藤原公任(きんとう)が選んだ36人の歌人

三十六歌仙絵馬



絵馬は江戸時代から明治時代の初めに奉納



澳津説神社



目次へ

澳津説神社のシイ

澳津説(おきつせ)神社のシイは樹齢300年以上で、市指定天然記念物になっています。



北部地区33 (田尻町4丁目) 度志観音 — 佛ヶ浜

常陸国風土記に記述されている「佛ヶ浜」は、田尻小学校南側崖地に彫られた度志観音ではないかとみられており、安産子育ての観音様として信仰を集めていました。



県指定史跡



東連津川の岩地藏



北部地区34 (田尻町7丁目)
空窪廃寺の不動明王



不動明王は、高さ1.5m余りの木造寄木(よせぎ)造りで、現在田尻町土岐(とき)家敷地内のお堂にあります。

不動明王像は空窪寺の本尊

[目次へ](#)



土岐家は修験者及び神職の家で、妙覚寺大宝院と号していました。

北部地区35 (白銀町2丁目) 日立武道館—旧共楽館

旧共楽館は、日立鉱山が従業員と家族の福利厚生施設として建設しましたが、現在は「日立武道館」として活用されています。



国登録有形文化財



日立武道館



旧共楽館

目次へ

北部地区36 (東滑川町5丁目)

太田尻海岸の西行法師歌碑

日立市内には、**西行法師**が詠んだと言われる歌碑が3つある中で、一番北にあるのが太田尻海岸の歌碑で、鉾泉宿「**うのしまヴィラ**」にあります。



うのしまヴィラ

太田尻や小田尻
や衣はなくて裸島
沖吹く風は身にも
しまぬか
西行法師歌



裸島

太田尻海岸

栄蔵法師は平安時代、太田尻海岸の小島に庵を建て修行をしていた。水戸光圀がここを訪れ橋を架けさせたが、現在、小島は海中に没した。



「田尻学区の今と昔」より



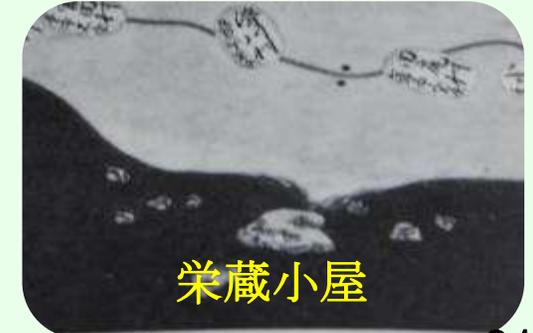
栄蔵法師・西行法師歌碑

父母のきせぬ衣を裸島
沖吹く風の身には志む登茂
栄蔵法師歌



目次へ

「新修日立市史上巻」(52・53ページ)



北部地区37 (東滑川町) 東滑川海浜緑地とヒカリモ

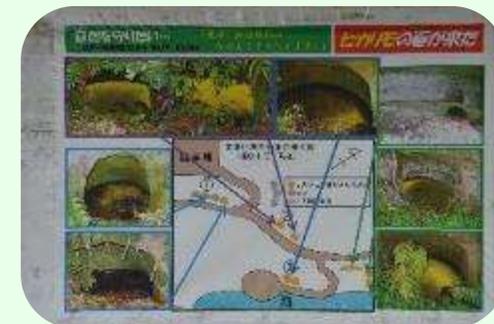
東滑川ヒカリモ公園の中にヒカリモの群生地があります。ヒカリモは単細胞で移動し、光を反射させることで**黄金色**に光ります。



日立一高のヒカリモ調査



東滑川ヒカリモ公園

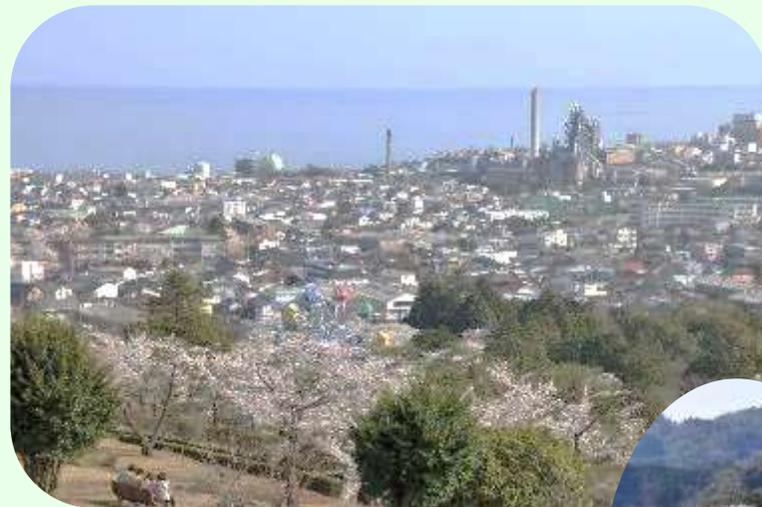


目次へ

北部地区38 (宮田町5丁目)

かみね公園と公園内 の石碑群、動物園

神峰公園は、昭和28年本格的に整備が進められ、その後、遊戯施設を設置し動物園が開園しました。



かみね公園



目次へ



石碑群



久原房之介・小平浪平頌徳碑

大煙突記念碑



俳句誌「かびれ」の俳人

新田次郎文学碑

ある町の高い煙突



根本甲子雄
顕彰碑

名誉市民
第1号

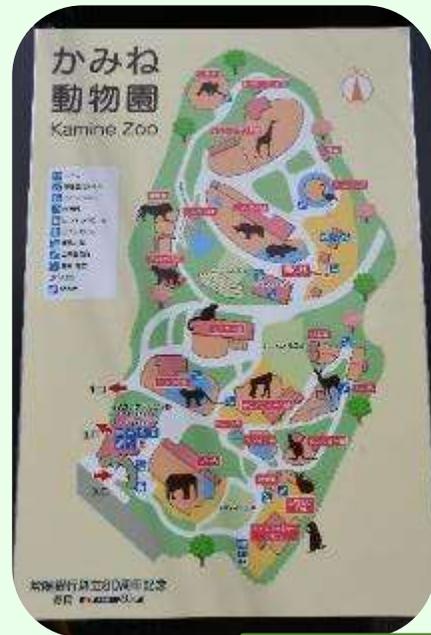


小松崎爽青句碑

目次へ



かみね動物園



はちゅうるい館



資料館



目次へ



動物たち

約100種540点



キリンの赤ちゃん
H30. 6. 14に生まれる



目次へ

北部地区39 (宮田町5丁目)

宮田ささら

宮田ささらは、神峰神社の祭礼、神峰神社大祭礼に奉納しています。ささらは、大獅子、中獅子、雌獅子、しゃぐまなどで構成され、哀調のある笛の音と優雅な獅子舞です。



令和元年神峰神社大祭礼



[目次へ](#)

北部地区40 (宮田町5丁目)
日立風流物

令和元年神峰神社大祭礼

日立風流物はかつては宮田風流物と呼ばれ、神峰神社の祭礼に奉納された山車です。江戸時代には人形芝居が加わり、後に開閉式に進化しました。

風流物は国指定重要有形、無形文化財でユネスコ無形文化遺産にも登録されています。現在、東町、北町、本町、西町の4町で所有し受け継がれています。



西町



東町



北町



本町

[目次へ](#)



日立さくら
まつり



目次へ

北部地区41 (宮田町5丁目)

大雄院の木造釈迦如来三尊像

木造釈迦如来三尊像は大雄院の本尊で、檜材を用いた**寄木造り**で、頭部に宝髻(ほうけい)を結び、宝冠を抱いているなど、鎌倉時代以降、禅宗寺院に多く作られました。



宗洞宗天童山大雄院

三尊像(釈迦如来像・普賢菩薩像・文殊菩薩像)は**県指定彫刻**



南極寿星(なんぎょくじゅせい)禅師が座禅した本山の宮田川にある**座禅石**

北部地区42 (白銀町1丁目)

熊野神社の日立製作所創業石

日立製作所創業石は、白銀町の熊野神社内にあり、日立鉾山から独立した**小平浪平氏**が芝内に工場(現山手工場)を建設したのを記念して、従業員の寄付などで建てられました。



熊野神社



桜塚(三角公園内)



桜塚の石碑は、日立工場長**高尾直三郎**が私費で建立し、**角弥太郎氏**の名を刻みました。

北部地区43 (高鈴町1丁目)

山野邊家墓所

助川海防城の館主であった山野邊氏一族の墓所は、高鈴町高台の**東平山**にあります。山野邊氏は、山形城主最上家の家系でしたが、其の後、代々、**水戸藩の家老職**となりました。



水戸藩九代家老**山野邊義観**は海防城の初代館主に任じられた。



[目次へ](#)